



■基礎データ

タイトル	緊急地震速報による対応行動訓練	
ねらい(学習目標)	1. 緊急地震速報の事前学習を生かし、緊急地震速報を聞いた時に自分の判断で自分の身を守る対応行動を習得させる【主体的に行動する態度の育成】	
対象学年	全般	
教科・イベント等	対応行動訓練（特別活動）	
訓練形態	通常訓練（対応行動・避難行動・講評までの全過程）	計 4 5 分
準備	緊急地震速報チャイム音、訓練用音源（※緊急地震速報チャイム音入手方法を参照）、緊急地震速報訓練受信端末（訓練モード）、その他（避難訓練に必要なもの）	

■学習の流れ

構成・内容	教職員の行動	児童の行動
1 緊急地震速報・対応行動訓練（2 分）		
「緊急地震速報のチャム音（4 回）→アナウンス『地震です。落ち着いて身を守ってください。』→地震の揺れの効果音（ガタガタガタ）」 ※緊急地震速報チャイム音、訓練用音源、緊急地震速報訓練端末など使用	<input type="checkbox"/> 児童のとるべき行動について、教師から指示を出さない <input type="checkbox"/> 机の下にもぐれない／上手く行動ができない児童には指示を与える ※地震の揺れの効果音が流れるまでに行動させる <input type="checkbox"/> 配慮が必要な児童は、教師と一緒に行動する（補助する） <input type="checkbox"/> 出入口の確保等、教師のとるべき行動をとる <input type="checkbox"/> 教師も身を守る行動をとる	<input type="checkbox"/> 緊急地震速報を認知し、自らの判断で「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」安全な場所へ移動して身を守る ※数秒から数十秒で行動する <input type="checkbox"/> 教室では、机の下にもぐり、机の脚を対角線にしっかりつかみ、揺れが収まるまで待つ <input type="checkbox"/> 教室以外では、その場に応じた退避行動をとる ※だんごむしのポーズ
2 訓練放送・安全確認（5 分）		
「訓練、訓練、訓練。ただ今大地震が発生しました。現在、校舎内の安全確認をしています。引き続き、その場で身を守る行動をとりなさい。」	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、児童および教室内の安全確認（出入口、火の元、落下物等）を行う <input type="checkbox"/> 教室外にいた場合は、周りの状況や避難経路の確認を行う <input type="checkbox"/> 配慮が必要な児童は、教師と一緒に行動する（補助する）	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、引き続きその場で退避行動をとる <input type="checkbox"/> 教師や校内放送の指示を静かに聞く
3 訓練放送・避難準備（2 分）		
「避難経路の安全が確認できました。先生の指示に従って校庭（避難場所）に避難しなさい。」	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、児童に防災頭巾、ヘルメットの着用を指示する <input type="checkbox"/> 配慮が必要な児童は、教師と一緒に行動する（補助する）	<input type="checkbox"/> 教師の指示に従って行動する
4 避難行動（3 分）		
	<input type="checkbox"/> 児童の準備が整ったら廊下に整列させ、人員点呼する <input type="checkbox"/> 出席簿を持つ <input type="checkbox"/> 児童を校庭まで移動させる	<input type="checkbox"/> 「おかしもち」のルールを守って校庭まで移動する ※「おかしもち」： <u>お</u> さない、 <u>か</u> けない、



	<input type="checkbox"/> 「おかしもち」のルールを守り、冷静に行動させる <input type="checkbox"/> 配慮が必要な児童は、教師と一緒に行動する（補助する）	<u>し</u> ゃべらない、 <u>も</u> どらない、 <u>ち</u> かづかない
5 避難・安否確認 (5 分)		
	<input type="checkbox"/> 児童を整列させ、座らせる <input type="checkbox"/> 人員点呼し、本部へ報告する（先生の訓練を実施する場合） <input type="checkbox"/> 負傷者を想定した応急手当訓練 <input type="checkbox"/> 行方不明児童を想定した搜索訓練 <input type="checkbox"/> 火災発生を想定した消火訓練 など	<input type="checkbox"/> 教師の指示に従って行動する <input type="checkbox"/> 座って静かに待つ
6 訓練振り返り (5 分)		
・児童の発表（自己評価）	<input type="checkbox"/> 発表者を予め指名しておく <input type="checkbox"/> 訓練の感想を児童と一緒に聞く ※児童の「わがこと意識」（自分自身の問題であること）を醸成させる	<input type="checkbox"/> 指名された児童は感想を述べる <input type="checkbox"/> 感想を静かに聞く
7 指導講評 (8 分)		
・災害対応従事者（气象台、消防など）の講評 ・校長（副校長・教頭）の指導講評	<input type="checkbox"/> 対応行動について講評する <input type="checkbox"/> 講評を児童と一緒に聞く ※ストップウォッチで時間計測する場合、「避難に要した時間」を計測していることに注意して講評する	<input type="checkbox"/> 講評を静かに聞く
8 訓練終了 (5 分)		
・訓練の終了、教室へ移動	<input type="checkbox"/> 児童を教室まで移動させる	<input type="checkbox"/> 静かに移動する
9 事後学習・振り返り (10 分)		
	<input type="checkbox"/> 事後学習ワークシートに沿って、児童に訓練の自己評価を発表させる	<input type="checkbox"/> 自分の行動を振り返る

■評価ポイント

1. 緊急地震速報を聞いて、慌てずに、自分の判断で自分の身を守る対応行動がとれたか
2. その場の状況に応じて、危険な場所を理解し、安全な場所への退避方法を考えることができたか
3. 「おかしもち」のルールを守って、指示された場所まで避難行動ができたか

■特記事項

- ・本事前学習を初めとして「事前学習→対応行動→事後学習」という学習プログラムで、緊急地震速報を用いた対応行動を学び・習うことができる
- ・訓練形態を「教室（普通教室）」以外に設定することで、その場に応じた対応行動を学び・習うことができる

【緊急地震速報チャイム音入手方法】

- ・「緊急地震速報の受信時の報知音の音源提供について」緊急地震速報利用者協議会
http://www.eewrk.org/eewrk_hochi-on/eewrk_hochi-on.html
- ・「緊急地震速報の入手方法について」気象庁
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/katsuyou/receive.html>